

キーワードを入力



トップ

速報

写真

映像

雑誌

個人

特集

意識調査

ラン

雑誌トップ | 新着記事一覧 | 雑誌媒体一覧

猫を殺さないで！ 「さくらねこの日」にあらためて知ってほしい現実とは？

3/18(月) 14:23配信

OVO
オーヴォ

猫を殺さないで！ 「さくらねこの日」にあらためて知ってほしい現実とは？

年間34,854匹の猫が、行政によって殺処分されている。しかも、殺処分される猫の多くが生後間もない子猫だというから、猫好きでなくとも暗い気持ちになってしまう。「生まれてすぐに殺される」——こんな悲劇をなくし、殺処分ゼロを実現するため、これまで全国で84,324匹の猫に無料で不妊手術を行ってきたのが、公益財団法人「どうぶつ基金」（兵庫県芦屋市）だ。

【動画】サクラネコ@どうぶつ基金

不妊手術が施された猫は、目印として耳先がさくらの花びらのようにカットされるため「さくらねこ」と呼ばれる。「どうぶつ基金」では、「さくらねこ」の存在を一人でも多くの人に知ってもらおうと、3月22日を「さくらニャンニャン」の語呂合わせで「さくらねこの日」と制定し日本記念日協会に登録した。

せっかく自由に生きているノラ猫を捕まえて、手術して耳まで切っちゃうなんて残酷な、という人もいるかもしれない。だが、耳先をV字にカットするのは不妊手術で麻酔をしている間。生まれてすぐに殺すことに比べれば、ぜんぜん残酷じゃない。手間をかけ、お金を出してでも、猫たちに生きてほしいと思う人たちの心の現れ、「さくらねこ」。町で彼女たちを見かけたら、実際に殺処分される猫が減ったということだ。

自分もそんな活動に参加したいという人は「さくらねこサポーター」になろう。毎月2,222円からの寄付で、継続的にさくらねこTNR無料不妊手術の取り組みを応援することができる。一代限りとなった命を健気に生きる「さくらねこ」。あなたの力で1匹でも増やせるかも。